

Lesson 3

お金を使う

| | |
|-----------------------|----|
| ◆どんなふうにお金を使いたい？ | 26 |
| ◆必要なもの？欲しいもの？ | 27 |
| ◆賢いお金の使い方考える | 27 |
| ◆もし、お金が足りなかったら？ | 30 |
| ◆社会に役立たせるお金の使い方 | 31 |

学習のポイント

- 必要なもの (Needs) と欲しいもの (Wants) の違いを理解する
- 合理的な意思決定のプロセスを理解する

Lesson 3

お金を使う

学習のポイント

- 必要なもの (Needs) と欲しいもの (Wants) の違いを理解する
- 合理的な意思決定のプロセスを理解する

1. どんなふうにお金を使いたい？

買いたいものは？

今、何か買いたいものがある？

はやりの洋服が欲しいし、おいしいものも食べたいし、旅行にも行きたい……テレビを見たり、街を歩いてショーウィンドーをのぞいたりしていると、次から次へと買いたいものややりたいことがわいてくるだろう。ほかの人が何か魅力的なものを持っているのを見聞きすると、自分もそれを欲しくなったりするかもしれない。

魔法の財布が手元にあって、無限にお金が使えればいいのだろうけれど、残念ながらそんなものは存在しない。誰だって使えるお金に限りがある。手持ちのお金では買えない高額な品物が、どうしても欲しいときはどうする？

それに、買いたいからといって、手持ちのお金を全部使ってしまうのはどうだろう。後でもっと別の買いたいものが出てきたときに困らないか？かといって、がまんばかりだと寂しい気もするし、お金の使い方って、結構難しいと思わないか？

後悔したことは？

ところで、これまでにお金を使っていろんなものを買ったり、したりしてきただろうけれど、中には「買わなければよかった」「しないほうがよかった」などと後悔したことが一度や二度はあったと思う。

どうして後悔するのだろう。買う直前や買った時点では「どうしても欲しい」ものだったはずなのに、今はもうそんな気持ちがしないせいかもしれない。反対に、「買ってよかった」「して・行って満足した」ということももちろんある。

過去に買ったものが、今、あなたの生活に役立っているかどうか。また、したり行ったりしたことが「よい思い出になった」「貴重な経験になった」かどうかで、満足と後悔の違いが出てくるのだろう。欲しいと思っていたものを実際に手に入れると、それだけで関心がなくなったりすることもある。

「欲しい、したい」という気持ちはとてもやっかいなもので、抑えるのはなかなか難しいが、それでも買ったり、したりする前に、その行動の効果や、後のことをいろいろ考えておけば、後悔が少なくなるかもしれない。

2. 必要なもの？ 欲しいもの？

では、お金を使ってものを買ったり何かをしたりする上で、あまり後悔しないためのポイントはどこにあるのだろう。

その一つに、

- 必要なもの (Needs : ニーズ)
- 欲しいもの (Wants : ウォンツ)

とに区別してみるという考え方がある。

例えば、衣服や食べ物、住むところ（衣食住）など、毎日の暮らしや学校生活に欠かせないもの、生きていく上で基本になるものが「必要なもの」だ。

一方、毎回の食事がいつも高価なフランス料理である必要はないし、洋服が有名なブランド品でなければいけないこともない。「欲しいもの」とは、その人の欲望や欲求によるもの、生活をさらに快適にしてくれるもののことだ。



3. 賢いお金の使い方を考える

意思決定とは？

必要なものや欲しいものを手に入れるときは、お金を使うときでもある。でも、必要なものや欲しいものを買うことのできるお金が、いつも十分にあるとは限らない。むしろその反対のケースの方が多いのではないだろうか。

何かを選ぶとそのほかのことができなくなったり、実現を先延ばししなければいけなくなる。何かを選択したとき、あきらめなければならなかったことから得られたはずの満足や利益のことを「機会費用（機会損失）」という。例えば、アルバイトをしたら時給1,000円もらえるとしよう。そして今日は、アルバイトに行かず3時間昼寝をしたとする。昼寝をしても費用はかからないが、アルバイトをしていれば得られたはずの3,000円と引き換えに昼寝をしたと考えると、昼寝の機会費用は3,000円となる。機会費用をよく考えて、いろいろな選択肢の中から最良の選択をすることが重要で、その選択の仕方を間違えると後悔のもとになる。だから、どれが今の自分にとって最も大切なことかを、慎重に考える必要が出てくるのだ。

こんなふうに、生活の中でお金の使い方を考え、実行していくことを、「意思決定」という。



合理的な意思決定

意思決定を行う方法はいろいろあるが、代表的なものとして「デシジョンツリー」がある。これは、ある決定をするに当たり、起こり得るすべての可能性を列挙し、その上で最適な選択肢を見つけようとする方法である。

例として、「新しいスマートフォンがほしい」という問題について意思決定をする場合を考えてみよう（図1）。

まず、この問題を解決するには、いくつかの選択肢が挙げられる。「最新機種を即購入する」、「割安なちょっと前の機種にする」、「おこづかいを貯めてから買う」、「がまんする」など。他にも考えられるかもしれないが、ここでは以上の4つの選択肢を取り上げてみる。

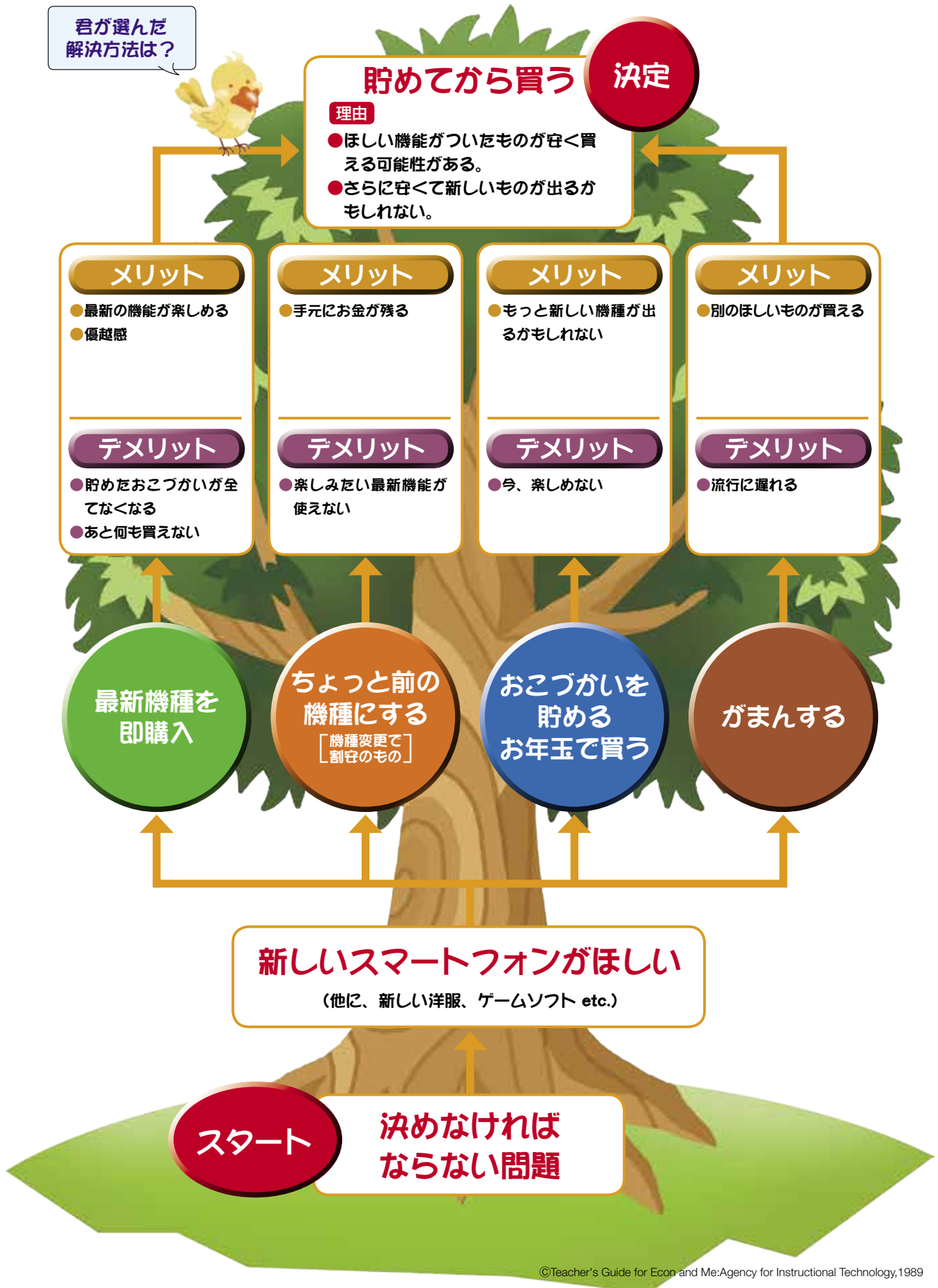
次に、それぞれの選択をした場合のメリットとデメリットについて考えてみる。最新機種を即購入すれば、最新の機能が楽しめるというメリットがある。その代わり、他に何も買えなくなってしまう。逆に、がまんすれば、別の欲しいものが買えるが、流行に遅れてしまうかもしれない。いずれにしても、単に頭の中で「新しいスマートフォンがほしい」と思っていたときと違い、どんな選択をするかによって得られるメリット・デメリットがはっきり見えてくるはずだ。その上で、最終的な意思決定をすればよい。

この例では、「貯めてから買う」と決めた。その理由は、お金を貯める間に、ほしい機能がついたものが安く買えるかもしれないし、さらに安くて新しいものが出るかもしれない、と考えたからである。

このように、意思決定を行う際に考えられる方法を具体的に列挙し、メリット・デメリットを考慮した上で決定することにより、「合理的な意思決定」を行うことができるのである。

では、いまあなたが買いたいものや欲しいもの、したいことなどをリストアップして、その金額も一緒に考えてみよう。そして、一つひとつについて「今すぐ必要か?」、「ないと困るか?」を分析した上で、デシジョンツリーに沿って意思決定をしてみよう。

●図1 意思決定の図（ディジジョンツリー）見本





P.29の図1を参考
にして意思決定をし
てみよう

WORK
SHEET

▶ワークシート② 意思決定の流れ

ステップ5 最終的にどの案にしますか?その理由も記入しよう **決定**

案 _____ に決定
理由 _____

ステップ4 案1~4について、それぞれの方法のメリット・デメリットを記入しよう

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 案1 メリット | 案2 メリット | 案3 メリット | 案4 メリット |
| デメリット | デメリット | デメリット | デメリット |

ステップ3 その意思決定を行うには、どのような方法が考えられるか、書き出してみよう

| | | | |
|----|----|----|----|
| 案1 | 案2 | 案3 | 案4 |
|----|----|----|----|

ステップ2 ステップ1のベスト5の中から、よく考えたいことを1つ選んで記入しよう

わたしの買いたいもの・したいこと _____

ステップ1 今、買いたいもの、したいことを書き出してみよう!

| 買いたいもの・したいことベスト5 | | | |
|------------------|------|---------------|---------------|
| 買いたいもの・したいこと | 金額は? | 今すぐ必要か? | それがないから困るか? |
| 1 | 円 | はい、どちらでもない、いや | はい、どちらでもない、いや |
| 2 | 円 | はい、どちらでもない、いや | はい、どちらでもない、いや |
| 3 | 円 | はい、どちらでもない、いや | はい、どちらでもない、いや |
| 4 | 円 | はい、どちらでもない、いや | はい、どちらでもない、いや |
| 5 | 円 | はい、どちらでもない、いや | はい、どちらでもない、いや |

4. もし、お金が足りなかったら?

あきらめる? 借りる?

ところで、何かをどうしても買いたいと思ったとき、そのためのお金を持っていないか、あるいは足りない場合にあなたならどうするだろうか。

まずは、あっさりあきらめるという選択肢がある。また、もし満足できればの話だが、ほかのもう少し値段の安いものにもすることもできるかもしれない。中には、親に言って足りない分を出してもらおうとか、友達などにお金を借りようとする人もいるかもしれない。

だけど、次のことを覚えておいてほしい。テレビでCMをよくやっているから知っているだろうが、社会人になると、銀行や消費者金融などがお金を貸してくれるようになる。働いて収入があれば、借りたお金を返せる力があると、貸す側が判断するからだ。しかし、その借りたお金を返せなくなっている人がたくさんいるし、中にはそれを苦に自殺してしまう場合もある。

親がいつまでも助けてくれるとは限らない。友達だっていつでも気持ちよく貸してくれるわけではないだろう。だから、お金を「借りる」ということは、慎重に考えたほうがいい。

お金を貯める

もし、買うのを急がないのなら、お金を貯めるという方法もある。そして買
 いたいもの、欲しいものは必ず出てくるのだから、ふだんから、おこづかいや
 お年玉、アルバイトをして得たお金やお手伝いをしてもらったお金を、少しず
 つ貯めておくというやり方もある。

この方法なら、いざというときにとても役立ちそうだし、親にも負担をかけ
 ないで済むはずだ。もちろん、友達などに嫌がられることもないだろう。お金
 を「貯める」ことについてはLesson 5を参照してもらいたい。



5. 社会に役立たせるお金の使い方

10 お金を使うときの意思決定について先ほど話したが、それはすべて自分自身
 のために使うことだった。しかし、お金の使い方として、「人のために」とい
 う考え方があることも知っておきたい。

例えば、寄付をすることは、自分のお金を「人のために」使うことである。
 赤い羽根の募金をしたり、地震や台風などの災害が起きた地域に寄付をしたこ
 15 とがあるかもしれない。もし、そうした経験がないとしても、身近な人に贈り
 物をしたことはあるだろう。

自分の意思で、誰かのためにお金を使うことは、社会に役立たせるお金の使
 い方であり、お金の大切さを学ぶことにもつながる。こうした経験を積み重ね
 ていくことで、お金の価値を自覚できるようになるだろう。


 フェアトレード
チョコレート
COLUMN

COLUMN フェアトレードチョコレート

あなたは、モノを買う時に、なにか基準があるだろうか？

何を買うか、選ぶときのひとつの尺度として「エシカル消費」というものがある。

エシカル消費とは、より良い社会に向けて、人や社会、環境に配慮した消費を促すことである。例えば、障がいがある人の支援につながるモノを選ぶ（人への配慮）、地元で生産されたモノを買う（地域への配慮）、エコ商品を選ぶ（環境への配慮）などがあり、その中の
5
1つにフェアトレード商品を選ぶ（社会への配慮）というものもある。

たくさんの食べ物が見世界中の国々から私たちのもとに届けられている。スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで商品を手にとった時、それらを生産している国や人々のことを、考えたことがあるだろうか？

「フェアトレード(fair trade)」とは、文字通り、公正な取引を意味する。主に、発展途上国から原料や製品を適正な値段で継続的に購入することにより、立場の弱い生産者の生活を向上させ、自立を目指す「貿易の仕組み」を指す。「フェアトレードチョコレート」とは、
10
このフェアトレードの仕組みによって製造されたチョコレートのことを言う。

チョコレートの原料はカカオ豆だ。カカオ生産地域の多くは発展途上国にあり、そこでは十分な生活ができないほど低い賃金で働く生産者が多い。その中には、児童労働者として働かされ、学校に行くことができない子どももたくさんいる。

チョコレートを購入する際にどのチョコレートを選択するかは、もちろんあなたの自由だが、「フェアトレードチョコレート」を選択肢の一つとして考えてほしい。あなたの商品選
15
択が、発展途上国の生産者の生活を安定させ、子どもを児童労働*から救うこともできるからだ。



小さな積み重ねは、大きな流れとなる。今、自分のまわりのことだけでなく、未来の社会や地球環境のことを考え、投資したりモノを買ったりする
20
ようなお金の使い方もある。あなたも持続可能な社会に貢献できるお金の使い方について考えてみよう。

25

*児童労働…18歳未満の子どもによる労働のうち、その仕事をするだけで心や体が傷ついてしまうような、子どもにとって害のある労働。